

〈書評〉
出口治明氏

「ビザンツ史に興味を持つ人には垂涎
の一冊」(『朝日新聞』読書面2020.2.1)

作家・星野博美氏

「著者アンナの強烈な個性…すべての現
場に居合わせたかのような異様な迫力に
満ちている」(『AERA』2020.1.27号)

佐伯(片倉)綾那氏

「当時のビザンツ帝国をはじめとする東地
中海の政治情勢を、多くの人物を登場
させて生き生きと伝える」

(『図書新聞』2020.6.20)

アレクシアス ALEXIAS

アンナ=コムニニ〔著〕／相野洋三〔訳〕

「日本語訳『アレクシアス』に寄せて」
(井上浩一・大阪市立大学名誉教授)

A5判1856ページ／本体8,000円＋税
978-4-86582-040-9



〔著〕アンナ=コムニニ

(1083年12月2日「緋の産室」生まれ～1154/55年頃没)：
アレクシオス1世コムニノス(在位：1081～1118年)の息女。アレクシオスの
死後、アンナの弟アノニアスが即位。アンナは夫ヴリエニオスを担いでクー
デターを企てるも失敗。以後、母の建てた修道院に入り、父の治績を綴っ
た畢生の大著『アレクシアス』を著した。

〔訳〕相野洋三(あいのようぞう)

1941年、神戸市生まれ。「ビザンツ帝国海軍組織の研究」により博士學位
(歴史学)取得。著書に『モレアの夢』、『続モレアの夢』。

皇女であり歴史家である著者が綴る、父皇帝の年代記。ビザンツ歴史文学の最高傑作、待望の日本語版！

“私の父によって行われたことすべて…
偉大な業績が後世の人々の前から
消えてしまわないために、
記述しようと決心したのである”
——アンナ=コムニニ

目次

アンナ=コムニニの生涯——日本語訳『アレクシアス』に寄せて(井上浩一)
系図・コムニノス家とドゥカス家／付図Ⅰ・帝国東部／付図Ⅱ・帝国西部
／付図Ⅲ・コンスタンティノープル
序文

第Ⅰ巻 ミハイル七世ドゥカス、ニキフォロス三世ヴォタニアティス治世下
における若き將軍アレクシオスの三つの手柄～南イタリアの征服者／ヌルマン
ロベルトス=ギスカルドス(ロベール・ギスカール)のギリシア遠征の準備

第Ⅱ巻 ニキフォロス=ヴォタニアティス帝に対するコムニノス一族の反乱～
アレクシオスの皇帝選出、皇帝歓呼を受ける～1081年4月1日、アレクシオス
軍、帝都を掌握

第Ⅲ巻 アレクシオスならびにイリニ=ドゥケナ両陛下下の人となりと容姿～
帝都に対する反乱軍兵士の非人道的行為に対するアレクシオス帝の贖罪

第Ⅳ巻 ティラヒオンの戦い(第一次／ヌルマン戦争[1081～85年]の開始)／
ロベルトス=ギスカルドス率いる／ヌルマン軍の勝利～アレクシオス、二日二
夜をかけてアルバニアの山岳地帯を駆け抜けオフリドへ落ち延びる

第Ⅴ巻 ロベルトス、イタリアへ帰還～アレクシオス、ギリシア西部・マケド
ニア・テサリアにおいてロベルトスの息子ヴァイムンドス(ボエモン)の／ヌル
マン軍と戦う～二度の敗北の後、1083年秋、ヴァイムンドスに対する初めての勝利

第Ⅵ巻 アレクシオス、／ヌルマン人からカストリア(北ギリシア)を奪還～ヴァ
イムンドス、イタリアへ帰還～アレクシオス、ヴェネツィアへ特権授与～1085
年7月、ロベルトス、再度のギリシア遠征の途中、熱病により死去～初子アン
ナの誕生(1083年12月2日)～トルコとの戦い～遊牧民スキタイ(パツィナ
キ)の脅威

第Ⅶ巻 バルカンにおけるスキタイ(パツィナキ)との戦い～スミルナの
アミール、ツァハスとの戦い

第Ⅷ巻 スキタイ(パツィナキ)との戦い～1091年4月、スキタイ(パツィ
ナキ)に対するローマ軍の最終的勝利～アレクシオス帝に対する度重なる陰
謀事件の発生

第Ⅸ巻 スミルナのツァハスとの戦い～クレタとキプロスにおける反乱～セ
ルビア人との戦い～ニキフォロス=ディオエニスの陰謀～セルビア人の服従

第Ⅹ巻 修道士ニコスの異端の登場～バルカンの遊牧民コムニノスとの戦い～
十字軍のはじまり

第Ⅺ巻 第1回十字軍(1096～99年)～シリアにおける十字軍士たちの活躍
～ヴァイムンドス、アンティオキアを掌握～ヴァイムンドス、ローマ軍との戦
いで苦境に陥り、イタリアへ脱出(1105年1月)

第Ⅻ巻 さまざまの国内問題～ヴァイムンドス、ティラヒオンを包囲、第二
次／ヌルマン戦争(1107～08年)

第ⅩⅢ巻 ブルガリア王族出身のアロン一族の陰謀～ヴァイムンドスに対
するアレクシオス帝の最終的勝利～ティアヴォリス条約の締結(1108年9月)

第ⅩⅣ巻 トルコ人に対するローマ軍の成功裡の戦い～アンティオキアにお
ける十字軍士に対する対応～アレクシオスの病氣とその原因～アンナの歴
史家としての立場～フィリポリスにおける異端に対するアレクシオス帝の
使徒的な働き

第ⅩⅤ巻 アレクシオス帝のトルコ人に対する成功裡の最後の遠征(1116年)
～コンスタンティノープルの孤児院の再建～ヴォゴニル派の首領ヴァシリオ
スの裁判と火刑～アレクシオス帝の最後の病と死(1118年8月15日)

訳者あとがき／訳註／関連史料および参考文献／索引

内憂外患に苦しむ11～12世紀初頭のビザンツ帝国を建て直した皇帝アレクシオス1世の事績を、
娘アンナが克明に記した。ビザンツ帝国史研究に不可欠の重要資料の初の日本語版。
ギリシア語原典から訳出し、英独仏露各国語訳をふまえた詳細な訳注と膨大な索引を付す。
／ヌルマン人やセルジューク朝、スキタイの侵攻、第1回十字軍、さらに国内では強力な
異端の横行など、「文明の十字路」での攻防を同時代人が活字化する第一級史料。



マドリードの王宮から、新大陸やフィリピンの植民地最末端にいたるまで、二つの大洋をまたいで縦横に行き交った膨大な文書群をさまざまな角度から読み解き、スペイン帝国形成の原動力となった「文書主義」を究明。

近代ヒスパニック世界と文書ネットワーク 国立民族学博物館論集⑤

吉江貴文[編]
A5判398ページ/本体3,600円+税 978-4-86582-035-5

書評掲載 『史学雑誌』2020.129編7号 『図書新聞』2019.11.23号



英蘭の東西インド会社、露米会社、南アフリカ会社などの貿易独占企業は、ヨーロッパが世界を制覇する立役者となった。セシル・ローズら植民地で権力・軍事力をふるい、巨万の富を築いた「商人王」の人物像——愛国者が悪党か？

貿易商人王列伝 会社が世界を支配した時代：1600～1900年

ボウン[著] 荒木正純・石木利明・田口孝夫[訳]
四六判346ページ/本体3,000円+税
978-4-86582-031-7

書評掲載 『週刊読書人』2019.3.8号 『週刊東洋経済』2019.4.13号 『図書新聞』2019.4.6号



これが戦時の生活？ 成年男子が戦地へ送られる中、未曾有の経済的繁栄を謳歌した第二次大戦下アメリカ。

銃後のアメリカ人：1941～1945 パールハーバーから原爆投下まで

開戦前夜から防空体制、戦時生産、女性労働者、戦争映画、配給制、娯楽や流行、人種差別と暴動、原爆投下と終戦まで、諸相を活写！

リンゲマン[著] 滝川義人[訳]
四六判568ページ/本体4,800円+税
978-4-86582-030-0



自由と民主主義との相克——19世紀後半のアメリカ文学者、クーパー、ホイットマン、ジェームズ、アダムの解説を通じて、「人民の、人民による、人民のための政治」が「多数派の、多数派による、多数派のための政治」に墮す政治風土を分析！

デモクラシーという幻想 19世紀アメリカの民主主義と楽園の現実

大島一芳[著]
四六判196ページ/本体2,000円+税
978-4-86582-033-1

書評掲載 『アメリカ文学研究』2019年56号

アレクシアス

本体8,000円+税 A5判856ページ 978-4-86582-040-9

部

書店番線印

近代ヒスパニック世界と文書ネットワーク

本体3,600円+税 A5判398ページ 978-4-86582-035-5

部

貿易商人王列伝

本体3,000円+税 四六判346ページ 978-4-86582-031-7

部

銃後のアメリカ人：1941～1945

本体4,800円+税 四六判568ページ 978-4-86582-030-0

部

ご担当者様

デモクラシーという幻想

本体2,000円+税 四六判196ページ 978-4-86582-033-1

部



〒113-0033 東京都文京区本郷 3-37-3-303
http://www.yushokan.co.jp/ TEL 03-3812-6504

FAX 03-3812-7504